

2025 年度

授業概要

科目名		言語療法技術Ⅵ			授業の種類	演習	講師名											
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科4年		必修・選択	必修									
〔授業の目的・ねらい〕 臨床で役に立つような知識にする。 国家試験対策として役立つものにする。																		
〔授業全体の内容の概要〕 吃音、臨床歯科、形成外科学の分野の総復習。																		
〔講師の実務経験〕																		
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 国家試験の模試で該当分野で6割以上の得点がとれる。																		
回数	講義内容																	
1	吃音①																	
2	吃音②																	
3	吃音③																	
4	吃音④																	
5	吃音⑤																	
6	臨床歯科①																	
7	臨床歯科②																	
8	臨床歯科③																	
9	臨床歯科④																	
10	臨床歯科⑤																	
11	形成外科学①																	
12	形成外科学②																	
13	形成外科学③																	
14	形成外科学④																	
15	形成外科学⑤																	
【 準備学習・時間外学習 】																		
【 使用テキスト 】 <table><tr><td>書籍名</td><td>著者名</td><td>出版社</td></tr><tr><td>言語聴覚士テキスト 第3版</td><td>大森孝一ほか</td><td>医歯薬出版株式会社</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>										書籍名	著者名	出版社	言語聴覚士テキスト 第3版	大森孝一ほか	医歯薬出版株式会社			
書籍名	著者名	出版社																
言語聴覚士テキスト 第3版	大森孝一ほか	医歯薬出版株式会社																
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。																		